

片山冲堂 かたやま うちゅう 善高松藩儒。文化十三年讃岐國生れ、明治二十一年一月八日歿（二八二六一六）。諱達、字元章、通稱道造。別號六石。昌平坂學問所に學び、舎長となる。歸藩して講道館助教、明治元年議事局引事、のち參政試補、廢藩後督學となるも、翌年病を以て辭す。門人に赤松椋園、三上梅堂、久保蘿谷等。

『冲堂遺藁』（内題「冲堂先生遺稿」）大正八年五月一日大阪・片山岬刊）がある。